

DMG MORI SAILING TEAM 11月8日スタートまであと40日！

# — Vendée Globeへの道 —

皆さま、こんにちは！

「DMG MORI SAILING TEAM」と白石康次郎選手の挑戦をお伝えするメルマガ

『DMG MORI SAILING TEAM -Vendée Globe への道-』の第13号です。

今回は、「Vendée Globe 2020」の有力スキッパーの紹介を中心にお届けします。



©Jean-Marie Liot

9月17日にパリで行われた「Vendée Globe 2020」公式記者会見での出場選手集合写真。

## 白石選手のライバルを知る！ 「Vendée Globe 2020」を 盛り上げる有カスキッパーたち

いよいよ「Vendée Globe 2020」まで1か月余りとなり、DMG MORI SAILING TEAMでは一丸となって準備を進めているところです。DMG MORI Global One号のメンテナンスは急ピッチで進み、9月15日には船をヤードから海上へと下ろしました。

メンテナンスを終え、海上へと下ろされるDMG MORI Global One号。



このメンテナンス期間中に、白石選手も着々と準備を進めています。そのひとつが医療講習です。いったんレースに出してしまうと、船上には白石選手1人だけ。万一のケガの場合、自分で応急処置をする必要があるため、傷口の縫合やギプスの使い方などの講習を受けました。



ケガはないに越したことはないが、いざという時のために備える。

また、以前からトレーニングに取り入れている居合もフランスで行い、心身ともに磨きをかけています。



ロリアンの海に向かって居合トレーニングを行う白石選手。

今回のメルマガは、1か月余りに迫った「Vendée Globe 2020」で、白石選手と競うスキッパーの中から有力視されている選手を何人か選んで紹介していきたいと思えます。

現地の下馬評で優勝候補とされているのが、ジェレミ・ベユ選手、アレックス・トムソン選手。さらにこれまでの実績や直近の成績から、ジャン・ルカム選手やトマ・ルイヤン選手なども注目されています。

### ジェレミ・ベユ選手 (仏 / 44歳)

Charal Sailing Team (シャルル・セーリングチーム)



今回が4回目のVendée Globe挑戦となるベユ選手。前回大会「Vendée Globe 2016」では3位、予選レース「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」では優勝、さらに9月10日から12日にかけて開催されたIMOCAのショートレース「LE DÉFI AZIMUT (ル・デフィ アジムット)」でも優勝と、安定した成績を残しています。

ベユ選手が所属するCharal Sailing Teamは、牛肉加工業を行っているCharalが運営しているチーム。フランスのスーパーには、同企業の製品がずらりと並んでおり、誰もが知る企業です。ベユ選手は、「Vendée Globe 2016」では違うチームでの出場でしたが、今回は新艇を建造するCharal Sailing Teamへと移籍し、念願の優勝を目指しています。

### アレックス・トムソン選手 (英 / 46歳)

HUGO BOSS (ヒューゴ・ボス)



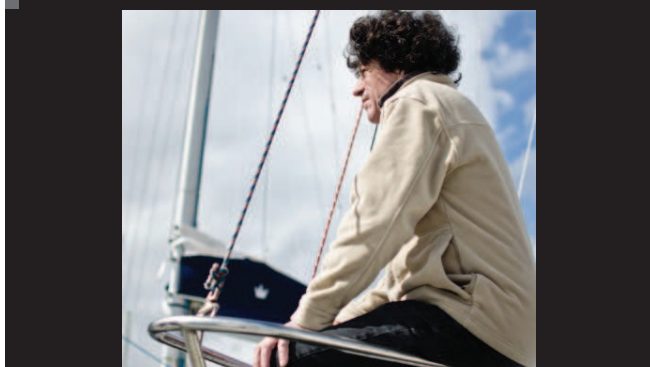
Vendée Globeの常連といってもいいトムソン選手は、今回の出場者のなかで最多タイとなる5回目の挑戦です。白石選手とは何度も同じレースに出場しているので、仲の良い顔馴染みです。

実績も十分で、「Vendée Globe 2012」では3位、「Vendée Globe 2016」では2位と、1つずつ順位を上げてきているので、今回は優勝にける思いが強いのではないのでしょうか。

トムソン選手の船は、コックピットを完全に船内に設置し、デッキ上のカメラを通して室内のモニターだけを確認しながら操作する仕組みになっています。もちろんセールやマストなど、デッキ上の物理的なトラブルについては屋外作業で対応する必要がありますが、基本的にはコックピット内での作業で済むという点がかなりユニークなものといえるでしょう。

### ジャン・ルカム選手 (仏 / 61歳)

YES WE CAM! (イエス・ウィー・カム)



前回のメルマガで最年長選手として紹介したルカム選手は、トムソン選手と並んで、今回の出場者のなかで最多タイとなる5回目の挑戦です。

トムソン選手は、過去4回のVendée Globeで2回の途中リタイアがありますが、ルカム選手は1回。順位も、「Vendée Globe 2004」で2位、「Vendée Globe 2012」で5位、「Vendée Globe 2016」で6位と、一桁順位でフィニッシュしていて安定感があります。

ちなみにルカム選手は、今回取り上げたスキッパーのなかでは、唯一フォイル艇ではありません。優勝争いをするにはフォイル艇が必須の時代ですが、予算との兼ね合いでフォイル艇を導入できないチームもあります。

他の有力スキッパーたちがフォイル艇で出場するなか、ノンフォイル艇でルカム選手がどのような戦いを挑むのか、善戦に期待したいところです。

自分の名前をもじった「Yes we CAM!」というキャッチフレーズやインパクト抜群のヘアスタイルで、老若男女から愛されているルカム選手。今大会きっての名物スキッパーです。

### トマ・ルイヤン選手（仏 / 39歳）

LINKEDOUT（リンクドアウト）



今回紹介するなかでは最年少のルイヤン選手。白石選手と同様、前回大会でVendée Globeに初挑戦しましたが、未確認物体との接触でレース中盤でのリタイアとなってしまいました。

実績的には劣るものの、予選レース「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」では、優勝したベユ選手にわずか1時間10分遅れの3位に入り、注目されています。

### サマンサ・デイビーズ選手（英 / 46歳）

INITIATIVES-COEUR（イニシャティブ・キュール）



「Vendée Globe 2020」に出場予定の6名の女性スキッパーのうち、Vendée Globeの出場経験が唯一あるのがデイビーズ選手。今回は3回目の挑戦となり、「Vendée Globe 2008」では4位に入賞したこともある実力者です。

予選レース「Vendée-Arctique-Les Sables d'Olonne」でも、優勝したベユ選手から約1時間45分遅れの4位。9月10日から12日にかけて開催されたIMOCAのショートレース

「LE DÉFI AZIMUT（ル・デフィ アジムット）」でもベユ選手に次ぐ2位でフィニッシュ。前半は後方でレースを進め、後半はベユ選手にわずか3分差まで追い上げました。調整が順調に進んでいることがうかがえます。

ちなみに、「LE DÉFI AZIMUT（ル・デフィ アジムット）」では、「Vendée Globe 2020」に出場する女性スキッパーのなかで、イザベル・ヨシユク選手が3位、クラリス・クレメール選手が4位に入っています。

今回のメルマガでは、注目選手として5人の有力スキッパーを取り上げてみました。以下のVendée Globe公式サイトでは、白石選手を含む全スキッパーの情報を見ることができます。レースは2か月以上も続くので、有力選手にも注目しながらレースの行方を追ってみてはいかがでしょうか。



<https://www.vendeeglobe.org/fr/skippers>

## DMG MORI Global One 号の装備

予選レース終了後のメンテナンス期間に、通信システムを追加搭載しました。従来の通信システムは周回衛星を使う「イリジウム」で、使用電力が少なく、通常の連絡の際に使います。今回、新たに搭載したのは、静止衛星を使う「インマルサット」。使用電力は大きくなるものの、安定性があり、動画や写真など、容量の大きいファイルも送ることができます。用途によって使い分けるほか、2つを搭載することで、万一の故障の際の予備としての意味もあります。なお、衛星通信は、スポンサーのKDDI様にご提供いただいています。



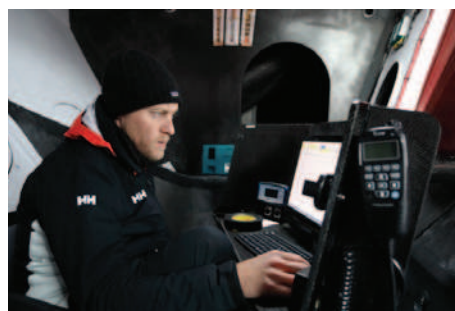
「Vendée Globe 2020」用に2つの通信システムを搭載。右がイリジウムで左がインマルサット。

## 【メンバー紹介】



ローラン・ルコント  
**Laurent Leconte**  
Engineer

ノルマンディの海の近くで育ち、セーリングやサーフィンに自然と馴染んだというローランさんは、子どものころから船で世界を旅するのが夢だったそうです。セーリングは、キールボートのレースに出場したり、IMOCA 60でテストセーリングを行ったりする腕前。エンジニアスクールで電気工学を学び、これまでCLASS40からIMOCA60まで、さまざまなレーシングヨットの電気系統の設置や整備を担当してきました。DMG MORI SAILING TEAMでは、電気系統と油圧システムの責任者を務めています。辛抱強さが自慢だというローランさん。エンジニアとして白石選手の挑戦を支えています。



「コージローのVendée Globe完走を見届けるのが楽しみではない!」というローランさん。

## 白石選手からのメッセージ

皆さま、こんにちは。

本文にも記載されていますが、DMG MORI Global One号は無事に進水し、テストセーリングをしています。

今回のメンテナンスで修正した電気系統やバッテリー、オートパイロットシステムなどがうまく作動するかどうかのテストを中心に、各所の動作確認、セイルトレーニングを最後の最後まで積み重ねていきます。

先日、パリでVendée Globeの記者会見が行われ出席してまいりました。

共に海に挑む仲間たちの輪の中に再び入ることができてとても光栄でした。

DMG MORI SAILING TEAMを結成し、最高のチームと最高の船を手に入れました。多くの方の協力がなければ、ここまでたどり着くことができなかったので、ご支援をいただいたスポンサー様やパートナー様には大変感謝しております。

今回はスタートラインに立つだけでなく、完走してゴールの感動を皆さまと分かち合いたいと思います。

そして、ご報告ですが、新型コロナウイルスの状況を鑑みて、スタート前に日本には帰らずに、このままレースに挑むことにしました。

本来であれば皆さまに直接お会いして、お礼を申し上げるべきですが、ご無礼お許しください。

無事に完走を果たし、晴れて皆さまにお会いできると幸いです。

感謝

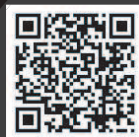
白石 麻生



発行元：DMG MORI SAILING TEAM  
お問い合わせ：DMG MORI SAILING TEAM <dmgmori\_pr@dmgmori.co.jp>

予選レース中の  
船内映像も  
ぜひご覧ください。

YouTube



DMG MORI SAILING TEAM公式HP

@sailingteamdmgmori

@SailingTeamDMGMORI

<https://sailingteam.dmgmori.com/>



GOLD SPONSOR

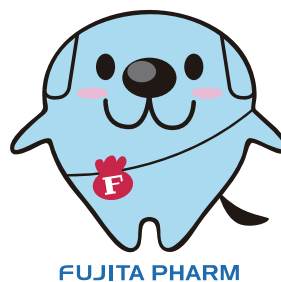


SILVER SPONSOR

**GOLDWIN**



BRONZE SPONSOR



OFFICIAL SPONSOR



**HAIMER**



医療法人社団 愛友会  
上尾中央総合病院  
Ageo Central General Hospital